

語り継ごう、明日へ。

歴史はいつも未来へのみちしるべです
世の中の進むスピードと自分の生きていくペースが
少し合わなくなってきたなと感じ始めたら
いつか来た道まで戻ってみましょう



馬にはお世話になったよね。

坂の町で何が大変とって、冬の雪道の行き来には往生します。まして除雪体制も不十分でロードヒーティングなどない時代のこと、重い荷を運搬する馬そりには、いささか悲哀を伴う思い出もあります。疲れて動こうとしない馬、ムチを振るう親方——人馬の呼吸がまるで合わないのが坂道でした。ようやく意を決して白い息を吐きながら歩みだす馬に、町の人はやさしい視線を送りました。昭和三十年代の後半にはもう馬そりはみられなくなりましたが、馬ぶん風という言葉が最近まで残っていました。雪が解けて風に舞う馬の落し物が、春到来を告げてくれたのです。



- ・時の街角／旧武岡商店——2
- ・マチの博物館／ボルタ工房——3
- ・川筋を行く／勝納川——4
- ・来た道行く道／河原太鼓工所——5
- ・あるはむれトロポリス／手稲駅——6
- ・道具で道草30年——7
- ・時計のある風景——8

二〇二一年冬(年四回発行)

発行：(社)印刷紙工

札幌市中央区南十五条西十八丁目
TEL(011)561-1597

編集：ひと街ごと刊行会

札幌市中央区北一条西十七丁目 北海道不動産会館四階
(編)編集工房海内 TEL(011)633-1651



時の街角

北海道開拓の村から

それこそ全国津々浦々にあるコンビニ
昔流にいえばよろず屋というところでしょうか
数は少なく交通の要衝にしかありませんでしたから
開拓時代にはずいぶんと重宝されました
日高地方のそのよろず屋の面影をたずねました

居室も七部屋ある 日高路のよろず屋。

旧武岡商店 明治三十一年（一八九八）建築

近年の市町村合併でなじみの町名
が消えてしまったところも少なくあ
りません。今紹介する旧武岡商店
が店を開いていたのは日高地方の静
内町ですが、現在は隣の三石町と合



併して新ひだか町と町名を変えてい
ます。
ことさら旧町名に
こだわるのは、維新
に伴う旧徳島藩のお
家騒動から移住した
同藩の稲田邦植家中
が、静内町の礎を築
いたからです。船山
馨の長編小説「お登
勢」を読んだ方はそ
の経緯をご存じのは
ず。吉永小百合主演
の映画「北の零年」も
同様の素材を基にしています。
武岡商店のあるじ、武岡清吉は
その稲田家の家臣の息子。明治四



座敷に帳場、棚には生活必需品。いかにも商家の雰囲気

年（一八七二）に来道した一行、百三
十七戸五百四十六人のうちの一人で、
当時十六歳でした。

清吉は二十七歳か
ら米穀や雑貨、荒物
などを扱ってしまし
たが、太平洋に面し
た土地柄、明治も後
半になると海路によ
る物資輸送が増え、
町にも豊富な商品が
出回るようになりま
した。この店舗兼住
宅の大きな建物は、
そんな時代の明治三十一年（一八九
八）に建てられたものです。

炬を切ってある広い板敷の居間は、女中も含めて大人数が生活していたことを
物語っている。天井の太い梁も普通の民家ではなかなか見られない

本造平屋で建築面積が二四二平方
メートル（七三坪）もあるのですから、店舗
を囲むように右手の表座敷に始まっ
て中座敷、奥座敷、居間、和室、仏
間、女中部屋と、居室が七部屋もあ
ります。

いかにもお金をかけていることが
わかりますが、中でも炬を切ってあ
る居間の造りには目をみはります。
天井に縦横に組まれた地元産のカツ
ラやエンジュの太いこと。当時はこ
んな木がまだたくさんあり、それだ
からこそ百年以上も持つということ
を教えられます。

外から見る限りでは入母屋桁屋根
のシンプルな構えになっていますが、
細部にはこの地方にまで洋風建築の

影響が及んでいることもわかります。
住居部玄関の円弧状の破風、そのひ
さしを支える鉄棒、あるいは右手の
よろい戸付きの開き窓などは、従来
の和風には見られなかったものです。
武岡商店はその後、店内に郵便局
も開設していますから、まさにこの
地方のよろず屋としての役割が大き
くなっていったことでしょう。



入母屋桁屋根のシンプルで大きな構え
正面の半分以上が店舗の間口
右側に住居部分の玄関がある

街の基幹産業をもつと身近なものに
 ぞして見るだけの観光から体験する観光へ
 ボルトとナットが合体した人形を
 見たたり作ったりする室蘭市の工房をたずねました

「鉄の街」だから、 鉄で作る「ボルタ」。

昨年十一月と十二月の二回にわたって、札幌からものづくり体験観光モニターツアーの一行が室蘭市を訪れました。メインはボルタ工房でのボルタ制作。親子連れからお年寄り夫婦まで幅広い年齢層の人が、いま売り出し中のこのボルト人形づくりに興味津々のようで、抽選で選ばれた各四十人が慣れない手つきで挑戦しました。

ライメージが付いて回る鉄を、もっと身近なものにしようと立ち上がったグループ「てつのまちぶろじえくと」(通称・テツプロ)の活動が始まります。恒例となったアイアンフェスタのプログラムで、小型の鉄の人形の溶接体験を行ったことがボル



上「花を育てるボルタ」
 左「ベースにうっとり」のボルタ
 どこか人間味もー



音楽隊の行進? いえ、楽器を演奏するボルタが集合しています!



わが輩はーまだ名がない!?



No.1から始まるさまざまなボルタ

100ポーズを販売中、楽しく制作体験も

お気に入りのボルタを探しながらゆつくり歩いて回れる展示スペース
 ティも登場しました。
 販売店は室蘭市内のほか札幌市内などにもありますが、ここへ来れば全員が勢揃い。またガラス越しに制作風景も見られますし、既定のモデルを自分で作ることもできます。札幌から体験ツアーに参



セントにも最適です。何より楽器を演奏したり、スポーツしたりというポーズがユーモラスで、すでに百種類が完成。女の子版のナツ

タの展開につながりました。二〇〇五年十二月のデビューで大ブレイク。マスコミにも数多く取り上げられ、街づくりのお手本として道内外から注目の的に。翌年、制作・販売の拠点としてボルタ工房を開設。現在、十二人のスタッフが制作にあたっています。



ラジオペンチでプラスネジを曲げるハンダゴテもそれほど難しくはない



みんな初めての制作体験だけど、スタッフの説明を聞くのも楽しい

ら(室蘭市内)。制作体験は一人二千円(小学四年生以上)。詳しくはボルタ工房までお問い合わせを。

加した人は、「丁寧に教えてくれてとても面白かった」と



普段は左手のガラス越しにボルタ制作の様子がみられる

勝納川(かつない)

川筋を行く

人と川の
様々な
かかわりを
たずねて

南樽市場そばを流れて海へ

街をうるおす「小樽の水」、 ゴムや酒造りもここから。

勝納川ってどこを流れているの？
地元の人でない限りすぐに言える人は少ないでしょう。
フリーの発着する勝納埠頭のある小樽市です。
橋上を鉄道や国道が走るのに目立たない川ですが、
同市の発展に大きくかかわっています。

小樽市を代表する産
業といえば観光が真っ先に浮かび
ますが、ゴム
や醸造といっ
た製造業も古
い歴史があり
ます。例えば
ミツウマゴム
や第一ゴムは、
広く道産子に
は長くつでお
なじみでしょ



ミツウマ(上)と第一ゴムの本社
東部工業地帯の中心企業

上流部、赤井川国道と交差する
恩根内橋の風情ある眺め

日本地名大辞典で、銭函
の工業団地に集積が進むま
ではゴム、木材、金属加工、
食品、醸造関係の中小企業
がたくさんありました。
勝納川の水源地は、小樽市
が余市町・赤井川村と境

中流部。ここから河口
近くの信香町にかけては「小
樽市東部の重要な工業地域」(角川

う。両
社が本社を
置くのは勝納川

界を接する辺
りの山麓。そこから
一〇・五キロ下って日
本海・小樽港へと流れ
出ます。小樽市街地に至っ
ても、川幅が狭く目立った流
れでもありませんから、市民以
外はあまり関心もありません。



北の誉酒造の酒ミュージアム
勝納川沿いにある
大きな醸造樽が目印



市街地を抜ける流れは浅く急で丸い石が多い

どこを流れているのか説明する
のに分かりやすいのは、南樽市場
のそばを流れている川といえど
うでしょうか。左党なら北の誉酒
造の酒造りミュージアムのあると
ころ。さらに上流の奥沢水源地に
は行ったことはありませんか。

小樽市民の台所として賑わう南樽市場
5号線がクロスする高砂橋から



前述の工
業団地が形
成された要
因の一つは、
同川の良質

で豊富な水。「ゴムや硝子産業に
おいては冷却水として。水産業に
おいては洗浄水として。菓子産業
などの食品に関しては商品用とし
て」(関学社会学部・島村恭則ゼ
ミHP)利用されているのです。



小樽市水道局が販売している
「小樽の水」が人気

その良
質という
点では、
小樽市水
道局が
ペットボ
トル入り
の「小樽
の水」を
販売中。ミネラルがバランスよく
含まれていておいしいと好評です。
また先の北の誉や信香町の田中酒
造亀甲蔵では、酒づくりにその伏
流水を使って長い伝統を誇ってい
ます。
おそらく南樽市場の賑わいもま



信香町にある田中酒造亀甲蔵
併設の井戸から仕込水を自由に取水できる



た勝納川の
水と無縁で
はないかも
しれません。
同市場から
さらに下って大小の船が係留され
た河口にたどり着くと、そこで目
撃したのはたくさんの方々の群れ。
街の真ん中を流れるこんな小さな
川にも、人を動かし、自然を呼び
寄せる力があるということの証明
です。

小樽臨港線(右手)の下をくぐって日本海(手前)へ



来た道、 行く道。

様々な先達がいるからこそ
二十一世紀があるんだよ——
スローコミュニケーションを求めて。

本欄への自薦、他薦を
お待ちしております。

祭りばやしや郷土芸能などで何気なく
聞いている太鼓。一体どこで作られてい
るのだろうかと考えたことはありませんか。
岩見沢市で三代にわたっ
て和太鼓を製造している

河原敏治さん(六三)の話
からは、「本物しか作ら
ない」という職人魂が伝
わってきます。

今年で創業九十三年と
いう河原太鼓工所。胴作
り、革作り、そして革張
りの工程を自家で一貫して行っており、
この太鼓でなくてはというファンが全
道各地にいます。

まず胴作りから話を聞きますと、本州
から仕入れた粗胴と呼ばれる生の木を、
五年から十年以上かけて自然乾燥させま



す。太鼓の長
さに合わせて
切断し中をく

要ですし、それ
ぞれの木の特性
が太鼓の音に
関係してきます。

胴作りの第二段階は、曲面カンナで外
と内を丁寧に削っていくこと。独特の丸
みがここで生まれます。外からは見えな
い内部も歌のうまい人は口の中が大き
いように「河原さ



りぬいてあるもので、
素材はケヤキやセン
タモなど。太鼓にす
るには直径が少なく
とも六、七十センチは必
ず必要です。

ん)、同じ厚みに
滑らかにしなければ
音が外へ響きま
せん。

次に革ですが、
何の革をどうやっ
て作るのか。これ
がまた一般の人に
は思いもよらない
ホルスタインの原
皮。塩漬けにした
ものを仕入れて加
工するのです。

一頭の牛を腹か
ら開いた縦横それ

中をくりぬいた木を自然乾燥させてから内外にカンナをかけていく



河原太鼓工所
岩見沢市元町1条西1丁目
TEL (0126) 22-0927

それ二、三
材ほどもある
それを、
塩抜きして
から毛を抜
いていきま
す。毛抜き
の作業をや
りやすくす
るために、



独自の製法による革、大きささまざまな道具—
そのすべてを使って魂のこもった太鼓を作る

大方は石灰水に浸すのだそうですが、こ
れだと革が白くなってしまいます。こち
らでは二代目、敏治さんのお父さんが考
えた門外不出の製法で、革があめ色に。

で音が変わっていくのを確認しながら縮
めていきます(河原さん)。ジャッキで
縮めた太鼓はどこを叩いても同じ音。河
原太鼓は外縁部が高く、中心部が低い音
に仕上がるのです。

和太鼓作り三代、 職人魂を込めて 遠鳴りする音色を。

河原敏治さん——岩見沢市 河原太鼓工所

湿気に強く、強じん
で遠鳴りする、河原
太鼓の音の秘密がこ
こにあるのです。

かです。今度太鼓を聞く時には、じつと
耳を澄ませてみたいところです。



切り取つ

た革を胸の両面に張り、

留めて完成です。この革張り

がまた大仕事。やぐら状に組

んだ木の台に綱で引つ張つて

固定し、少しずつ締め上げて

いきますが、ここでもまた河原

さんの職人仕事の本領です。

「ジャッキを使うところがほと
んどですが、うちはクサビ



※上の太鼓の写真は河原さん提供

JR 岩見沢駅のすぐ北側にある作業場兼倉庫
いつでも注文に応じられるほどの胴が待っている

寒風や吹雪に耐えながら列車を待ったころ
跨線橋が見える(昭和54年2月)



あるばお レトロポリス

手稲駅

街の変容を映して最も顕著なのは鉄道の駅でしょう。札幌駅がその代表ですが、地域の駅舎にも変遷があります。以前の手稲駅のたたずまい、狭い駅前混雑などは現在の立派な高架駅からは想像が付きません。

札幌市の発展とともに 駅舎もかわつて四代目。

手稲駅の開業は明治十三年(二八八〇)十一月。この年、手宮(小樽市)と幌内及び幾春別(ともに三笠市)とを結んだ幌内鉄道の、軽川駅として開設されました。石狩炭田の石炭を小樽まで運ぶ官営鉄道で、乗客の台図があるときだけ止まる簡易停車場でした。

その後、明治三十九年(一九〇六)に国有鉄道の駅となり、手稲駅に改称されたのは昭和二十七年

(一九五二)のことです。上の写真の木造駅舎は、昭和五十六年に三代目の橋上駅舎になるまで使用されていた、昭和九年建築の二代目駅舎です。丸太で造られた山小屋風の建物で、三代目になってもしばらくは、喫茶店として利用されていたのを覚えている人もいます。

その昭和五十六年の二年前に、西区から手稲区が分区分しており、人口の増加に伴う交代だったことがわかります。北口には旧三葉オーシャン(現メルシャン)所有の工場跡地を利用して広場もできました。手元の資料によりますと、昭和五十年代前半の手稲駅の乗降客数は一万八千二百人。それが現在は乗車客だけで一万四千人に膨れていま

す。この数字は道内で札幌駅に次いで二番目。西部の中心地として大きく発展しています。

現在の駅の完成は平成十四年(二〇〇二)。翌年にその南北をつなぐ自由通路「あいくる」もできました。商店が軒を連ねてすっきりした街並みの南口前。そして北口には区役所や総合病院、大型スーパー。各方面へのバスターミナルにもなっています。改めて

目をみはる手稲駅と南北街区の変容ぶりです。



拠点駅として大きく変ぼうした現在の駅舎(南口)
道内2番目の乗降客数にふさわしい。



冬になれば駅前にうず高い雪(南口)
バスやタクシーで混雑した(昭和52年2月)
木造駅舎が喫茶店になったこともあった(左)
※上4枚はいずれも札幌市文化資料室提供



上は街区整備が行われる前の南口(平成2年)
雑然とはしていたがまだ人のにおいがあった

三葉オーシャン(現メルシャン)所有の工場跡地を利用して広場もできました。手元の資料によりますと、昭和五十年代前半の手稲駅の乗降客数は一万八千二百人。それが現在は乗車客だけで一万四千人に膨れていま



こちらは北口広場
バス乗り場も整備されて
まるで空港のようでもある

道具で

道草30年

中原二郎とともに最悪の事態を乗り切るために借りた金
それを何とか返そうと絵に打ち込む宮田さん
今度は良き伴侶を得て新しい絵画人生のスタートだ

坂一敬

レトロスペース坂会館・館長（坂栄養食品開発部長）

同じ教室に、宮田さんたちより一
回り以上年上の人があった。彼の描く
日本画はとても美しく、皆が見とれ
るくらいだった。しかし彼は、普通
の画家を目指していたわけではな
かった。日本一の性画家になるこ
とを目標に、絵に幅や厚みを増すため
洋画の技術を身に付けるべく太平洋
画会に来たという。

不折さんの家に宮田さんを連れて
いってくださったのも彼で、「よう、宮
田君。今度、不折の家に行こうや」と
誘われて先生の家に行ったという。
宮田さんの仲間内では不折と呼び捨
てにしている、面と向かって呼び捨
てにすることは無いのに、彼は「よ
う、不折。ちよつと寄つたぜ。ここ
ろで林（りん）さんは来ることあるの
かい」といった調子。不折さんもそ
う言われてもまったく怒るわけでも
なく、「よく来た。まあ、上がれと
友だち口調だった。宮田さんは、いっ
たい彼はどういう人なんだろうと不
思議だった。

研究所では、午後のコスチューム
は若くて綺麗な人もいたのだが、午
前の裸体モデルは三十過ぎの、子供
が二、三人はいるのではないかと
いう人が多かった。白馬会や美術学校

に比べて設備が格段に落ちる研究所
はモデルさんにも不人気。売れ残つ
た人しか来てくれないから丸鬚を
結つたおばさんというわけだ。
ある日、彼が宮田さんに「いつも

モデルの女性を 新しいパートナーに。

そして彼に「とにかく女性自身を
描いてこい」と言われて、中原は方
針転換。当時付き合っていた素人の
彼女を、宮田さんは誰もいないので
仲間の女性に「君しかない。私の

丸鬚ばかりじゃダメだ。たまには島
田や断髪を描くことも必要。今度、
私のところに来ないか」と言う。行つ
てみると、彼はそこで別にモデルさ
んを雇つて絵を描いていた。そんな
関係もあつて、宮田さんにも中原に
も、研究所には彼しか相談できる人
がいなかった。例の中村からの
借金の件を話してみた。

彼いわく「アイスの借金は踏み倒
しても構わん。しかし友だちの借金
はそうはいかんよ。友情と人間性が
かかっている。どんなことをしても
返すべき。ちなみに当時、アイス
とはアイスクリームⅡ氷菓子Ⅱ高利
貸しのことだった。



若き日(20代)の
宮田さん

モデルになつてくれた女性
なかなかの美人だ



人間性と友情の危機」と
三拜九拝してモデルに
なつてもらい、彼の元へ
持つて行つた。それでとにかく
二人とも何とか合格。彼のお陰で中
村への義理は果たせたのである。
そのとき、彼が言ったという。「中
原君の絵は勢いはあるけれども、粗

くて性画には向かない。その点、宮
田君のは、丁寧で綺麗で向いている。
家も女性にも話はついているので来
ないか」と。

その女性の父は腕の良い筆職人
だったのだが、時代の変化で仕事が
減り、お定まりの酒とバクチ。借金
がかさんで、とどのつまりは一家心
中か吉原かと追い詰められ、もう何
でもやらなければというところをス
カウトしたとのことだった。

宮田さんは彼女をモデルに美人画
を描いていたのだが、ある日、彼女
に今日は泊まつていつてほしい、あ
なたが好きだと言われたという。そ
の日は何とか振り切つたのだが、次
の日もという自信が
ない。それでこのこ
とを彼に言うと、実
は彼もその女性が
好きなのだが、彼
女が宮田さんを選
んだのだから引き下
がるしかない、二
人を祝福してくれた。

そして、彼女なしではこの仕事成
り立たないのでやめよう。ゆくゆく
二人が一緒になるにしてもペンキ画
は大変——そう言つて元締めに話を

つけ、中を通さず直に卸せるように
してくれたのだ。

これだと一枚九十銭になる。家か
らの十六円の仕送り、彼女もモデル
としての稼ぎがあり、東京で二人で
十分やつていける。店に二十枚納め
、そのお金を持つて飛ぶように彼女の
元へ戻り、お金を渡した。二人の新
しいスタートだった。

宮田さんが三拜九拝してモデルに
なつてもらつた女性、そして新しい
スタートを切らせてくれた先輩……
二人の名前は宮田さんから聞いては
いたのだけれど、私も寄る年波。忘
れてしまった。文学や絵画に関心の
ある人ならほとんどの人が知つてい
る名前だつたと思うが……。

（この項終わり）

- ※1 性画 一切のデフォルメを排し、女性の裸体をありのまま表現した絵
- ※2 不折さん 中村不折 明治から昭和にかけて活躍した洋画家、書家。森岡外や夏目漱石とも親交が深かった
- ※3 林（りん）さん 森林太郎（岡外）のこと

晩酌タイムに動き出す？

何かに追い立てられるように過ぎていく毎日。いつもそこにある時計に、足を止めることを忘れていませんか。

ジョッキを持つ手がいまにグビグビやり始めるのではないかとたずねていたら、向かいの店先の若い女性から「動きませんよ」と笑われました。ここは札幌狸小路にある老舗のビヤホール。以前は動いていたという話も耳にしたので中に入って聞いて

みましたが、詳しいことはわかりませんでした。いずれにしてもオールドフアンのお店、そして古くからの商店街です。どこも時代の波に押されながら大きく変わっていきなかに、昔懐かしい雰囲気を残したままの賑わいを願わずにはいられません。



Now Printing

●本づくりのパートナー
(社)印刷紙工

居間で本づくりセミナーを
自分史など本をつくりたいと考えている人のために、出前の本づくりセミナーを承ります。三人以上のお集まりで会場をご用意いただけます。日時をご相談の上、印刷担当者や編集者がお伺いいたします。ご自宅の居間でも結構です。もちろん無料です。
記念誌は未来への道しるべ
企業や団体の十年を一区切りとする創立周年、二十周年、三十周年と歴史を重ねていく度にその歩

質問箱

本づくりの「?」にお答えします。お気軽に質問をお寄せください。

Q 高齢の父に認知症が疑われるようになり、介護をする自分もまたもう若いとはいえません。そこで、できるだけ早い機会に我が家の歴史を記録しておきたいと思います。よい方法がありましたら教えてください。

写真の整理で脳を活性化

A 古い記憶を呼び戻すことは脳を活性化させるといえます。事実、認知症には回想法という治療法があり、その効用も認められているところ。我が家の歴史を記録するという事は、取りも直さず過去の記憶をたどることですから、案外、お父さんの症状にも

効果があるかもしれません。そこで、いずれ本づくりと結びつくであろう古い写真の整理を始めてはいかがでしょうか。押入れのどこか奥深くに眠っているたくさんの写真や、もう何十年も見ていないアルバムはありませんか。それらを家族で年代順に分けていったり、一緒に写っている人の名前を確かめたり、あるいは撮影場所を記したりして作業を進めていきます。そして誰か分からないもの、場所や年月も不明のものは処分していくのです。その一方で、我が家史に使えるような写真をピックアップしておけば、後で必ず役に立つはず。その写真だけ並べて説明を入れていっても、簡単な我が家史にはなりません。少し詳しく記述したいなら、写真を基に構成(目次)を考えてからスタートしてください。

みを記録しておかなければ資料が散逸、功績のあった人も物故していきまます。未来への道しるべ、歴史はきちんととまとめておきたいものです。企画、編集、印刷、どの段階からでもご用命を承っております。
小紙を無料で差し上げています
慌しい時の流れに、ほっと一息つける話題を提供していきたくと願っている小紙。ご希望の方には無料で定期的にお送りしております。印刷紙工までお申し込みください。